

浅羽北幼稚園 沿革

- 平成 13. 3. 12 浅羽町立浅羽北幼稚園竣工
- 13. 3. 27 浅羽町立浅羽北幼稚園落成式
(旧浅羽北幼稚園から分離)
- 13. 4. 7 浅羽町立浅羽北幼稚園 4歳児入園式
- 13. 4. 13 浅羽町立浅羽北幼稚園 3歳児入園式
(3年保育実施)
- 14. 3. 20 学びの森竣工
- 17. 4. 1 袋井市との合併に伴い、
袋井市立浅羽北幼稚園に名称変更
- 18. 11. 5 砂場増設
- 19. 8. 25 泥んこ広場設置
- 29. 4. 1 延長預かり保育開始

♪ 園 歌 ♪

作詞 鈴木三枝子 作曲 横地るみ子
補作 園歌制定推進委員会

- 1 明るいお日さま キラキラと
みんなの笑顔に ふりそそぐ
元気な浅羽の 幼稚園
- 2 楽しい歌声 ランランと
みんなの心に 通いあう
仲よし浅羽の 幼稚園
- 3 仲良く遊ぼう にこにこと
みんなの体も はずんでる
がんばる浅羽の 幼稚園

令和8年度(2026年度)幼稚園経営書



浅羽北幼稚園の教育

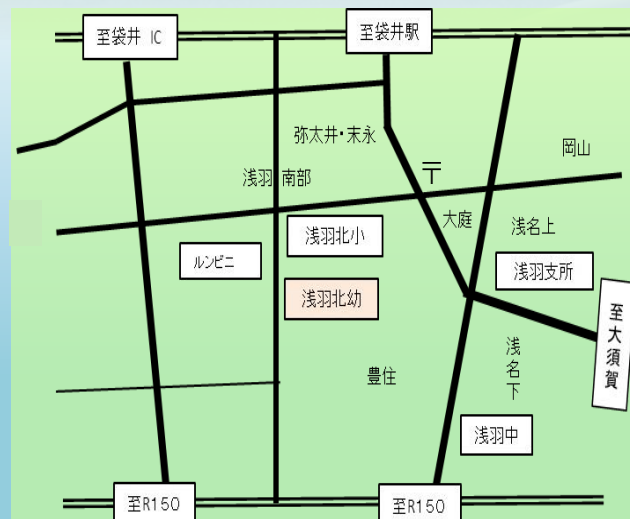
【教育目標】

瞳かがやく 浅北っ子
～ げんきになかよくがんばる子～

【園区の概要】

園区は豊住、浅名上、浅名下、岡山、大庭新道、弥太井末永、浅羽南の地区から編成されている。周囲は田園に囲まれ、自然が豊かである。また、浅羽地域の中心地として公共・文化施設も多い。小学校、民間こども園が隣接している。小学校区内には公立幼稚園が2園あり交流を進めている。

《 園 区 図 》

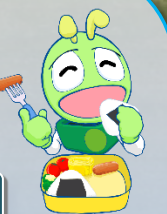


《 地 区 別 園 児 数 》

地区	3歳	4歳	5歳	計
豊住	0	2	0	2
浅名上	2	1	2	3
浅名下	0	0	0	0
岡 山	0	0	0	0
大庭新道	1	0	0	0
弥太井末永	0	0	0	0
浅羽南	1	1	0	1
地区外	1	3	1	5
計	5	7	3	15



浅羽学園



袋井市立浅羽北幼稚園

〒437-1102 静岡県袋井市浅名41番地

TEL (0538)30-0800 FAX (0538)30-0811

Eメールアドレス: asakita-y@city.fukuroi.shizuoka.jp

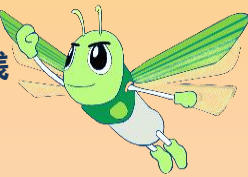
【園経営方針】

～「心豊かな人づくり」の推進～

- ・「魅力ある園づくり」の推進
- ・人権や人格の尊重、特別支援教育の充実
- ・架け橋期のカリキュラムの継続・改善
- ・任せて認める指導・PBSの実践
- ・浅羽3園統合に向けた連携・交流活動推進

【園運営の基本】

- 1 安心・安全の確保
 - 2 家庭との連携・協力
 - 3 PDCA サイクルの実践
 - 4 共通理解・共通実践
 - 5 園内研修の充実
 - 6 教育環境の活用
 - 7 予算の適正な執行
- ◆ 同僚性とチームワーク→職場環境の改善



《園児数と職員一覧》

学年	組名	園児数			補職名	学級担任等
		男	女	合計		
年少	はな	3	2	5	主任教諭 松本 歩 教諭 伊藤 萌 統括 村松 久美	【複合保育】 担任
年中	つき	1	6	7		
年長	そら	2	1	3		
複合	にじ	6	9	15	園長	西尾 重男
					保育補助員	佐藤 くに子
					保育補助員	土田 みどり
					事務員	榎原 理帆
					園務員	松浦 雅義
【預かり保育】 年少2名、年中5名、年長2名 早期延長保育利用3名 夕方延長保育利用なし					外国人支援員	桑原 美由貴
					保育補助員	永井 美重子 (延長、長期休業兼ねる)

令和8年度 浅羽学園袋井市立浅羽北幼稚園グランドデザイン



浅羽学園一貫教育の推進（任せて認める指導・ポジティブな行動支援）
3幼稚園・保護者・地域との連携強化（園児の交流活動の推進を通して体制整備）

- 「魅力ある園づくり」推進（安心・安全、人権・人格や主体性を尊重した保育）
- 「共生共育」推進（特別支援教育・外国籍園児支援の充実、各関係機関・保護者との連携）
- 「架け橋期のカリキュラム」の継続・改善、交流活動の充実（3園、幼小中、職員）
- 「浅羽3幼稚園統合」に向けた取組（幼・小との連携、園児・職員の交流推進、体制整備）
- 「地域と共にある園づくり協議会」の活用・充実（3幼稚園地域との相互理解・連携強化）

【園内研修】

研究主題 『やってみたい!』と夢中になって遊ぶ子をめざして

主題設定の理由

園児数の減少に伴い、3学年合同の異年齢保育を3年間実施している。その中で、幼児一人一人が心を動かし夢中になって遊ぶ子の育成をめざし、幼児理解を深め援助や環境構成を工夫してきた。異年齢児への親しみをもって自分から関りながら遊ぶ姿が増えた反面、遊びが長続きせずすぐに飽きてしまう姿が見られたり、少人数がゆえに友達同士の刺激の少なさが課題であると感じたりしている。また、今年度は個別の支援を要する園児が増え、共生共育の充実が求められている。

そこで、本年度は、個に応じた支援を基盤に置き、「やってみたい!」を見つけ主体的に遊ぶ姿をめざして、環境や援助について探っていくことを研修主題とする。少人数園である強みや課題を意識しながら、日々の職員カンファレンスを通して幼児理解を深め、幼児の興味を探り、年齢や個人の発達や実態を捉えながら、「やってみたい!」を見つけ主体的に遊ぶ姿の具現化を図りたい。

さらに、家庭と幼児の育ちを共有し、浅羽学園がめざす姿を押さえ、家庭と共に『ポジティブな行動支援』を実践することで、幼児の心が満たされ、より伸び伸びと主体的に遊ぶ姿につながると考える。そして、小学校・他園との交流を通して、大人で遊んだり人間関係を広げたりする経験を積むことで、主体性はより育まれ、何事にも意欲的に取り組む姿につながると考える。特に、本年度は、浅羽3幼稚園の統合を見据え、園連携や交流活動の工夫・推進を強化していきたい。

園内研修構想図（研究内容と方法）

